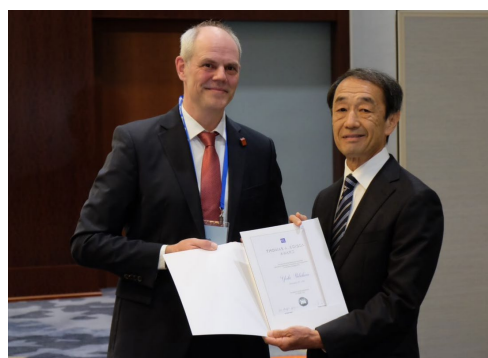


2022 年 IEC トーマス・エジソン賞を受賞して

IEC TC 110 国際幹事
 富士フイルム ホールディングス株式会社
 芝原 嘉彦

2022 年 10 月~11 月に IEC 総会が米国のサンフランシスコで開催されました。10 月 31 日に開催された標準管理評議会 (SMB: Standardization Management Board) において、SMB 議長 (IEC 副会長) の Dr. Ralph Sporer 氏から 2022 年 IEC Thomas A. Edison Award を拝受いたしました。

このような権威のある賞をいただき大変光栄に思います。この賞は 2010 年に創設され、IEC の委員会の国際議長や国際幹事等のうち、委員会の効率的な運営を通じて顕著な成果を挙げた人物や、IEC に献身的なサービスや顕著な貢献をした人物に与えられるものです。今年は 4 名が受賞しました。私の受賞は TC 110 (電子ディスプレイ) の国際幹事としての貢献が評価されたものです。これも、ひとえに TC 110 国内委員会、経済産業省 国際電気標準課、国内審議団体である (一社)電子情報技術産業協会、IEC-APC 事務局の皆様、そして SMB 関係者の皆様のご支援、ご協力の賜物です。心より感謝申し上げます。



<左: Sporer SMB 議長、右: 芝原 TC 110 国際幹事>

TC 110 はテレビ、モニター、スマホ、プロジェクターを始めとする機器の電子ディスプレイを対象としております。2003 年に TC 47/SC 47C から TC 110 となって以来、有機 EL、3D やフレキシブル、タッチパネル、アイウェアをはじめとするディスプレイ技術の進歩と用途拡大に伴い、WG 数とエキスパート数を大幅に増やしつつ活発に活動を続け、毎年 10 件程度の IEC 文書を発行してきました。



<SMB 会議の会場>

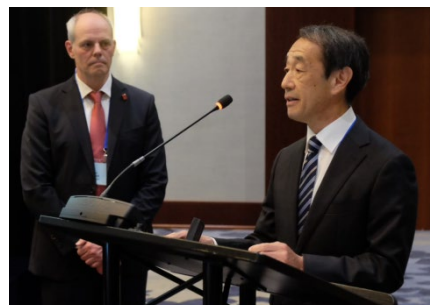
私は、2007 年頃から参画を始め、2012 年に国際幹事に就任しました。それ以来、積極的に TC 110 の活動を拡張し、この 5 年間でも 6 つの WG を新設、P メンバーを 9 から 21 に、エキスパート数が 150 名から 270 名に増加するなどの発展に繋げ、電子ディスプレイ全般をカバーできるようにしてきました。他の TC との連携も強め、新たに 10 件のリエゾンを締結し活動領域を広げました。

また、WGの構造改革を行い、効率的で効果的な標準化を進めやすくしました。具体的には、従来は測定法や試験法を液晶や有機ELなどディスプレイ技術毎に議論していたが、共通に議論する光学測定のWGと耐久性試験のWGを設立し、統一的に標準化が進められるようにするとともに、個別の標準化をスリム化しました。

また、ディスプレイ技術の違いや会社間、製造者とアカデミアの間で意見の対立があって標準化が膠着したのをメンバーの協力をとりつけてなんとか先に進められるようにし、重要な標準文書の発行に繋がりました。「コンセンサス」の難しさを再認識するとともに、メンバー同士の信頼や協力の大切さを強く感じました。

以上の成果は、特に国際副幹事の兵頭啓一郎氏と上原伸一氏との協働によって初めて成し遂げられたものです。また、TC 110のエキスパートは技術レベルが高いだけでなく、標準化に前向きで勤勉な人が多く、国際幹事として本当に助けられ、また大きな責任を感じてきました。

最後に、ご推薦を頂いたTC 110国内委員会、JEITA DD標準化委員会、IEC-APC、経済産業省、SMBの関係者皆様にお礼申し上げます。今後も、IECのさらなる発展に微力ながら尽力していく所存です。引き続き皆様からのご指導ご鞭撻を頂戴いたしたく何卒よろしくお願ひ申し上げます。ありがとうございました。



<受賞式でお礼と抱負を述べる
芝原 TC 110 国際幹事>

以上

参考: IEC ホームページ "Six experts receive the Thomas Edison Award"
<https://www.iec.ch/blog/six-experts-receive-thomas-edison-award>